



2020年3月期第2四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2020年3月期第2四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 上原悦人		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223,312,500円		
グループ会社数	〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,880名	(当社単体)	7名
		(連結子会社)	5,393名
		(持分法適用関連会社)	480名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	34,400,940,000円

2019年9月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2019年9月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	45.42%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.19%
<small>※ソリッド銀行は、9月19日付で、当社からの債務(借入金)の株式化(デット・エクイティ・スワップ)を実施しており、その結果、当社の議決権比率が上昇しております。(40.00% → 45.42%)</small>		
【再生ビジネス】		
IT(デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社	96.77%

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

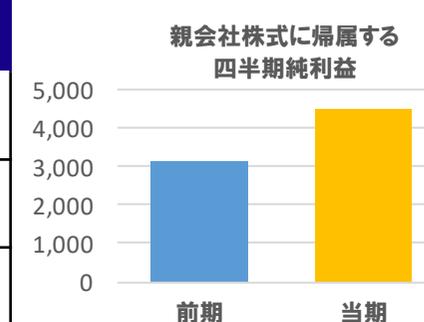
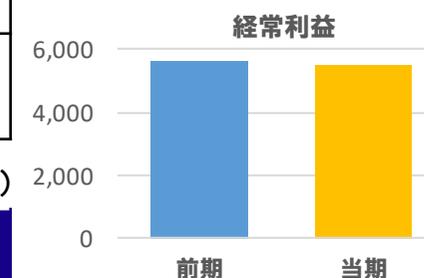
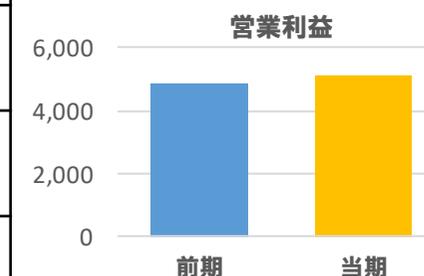
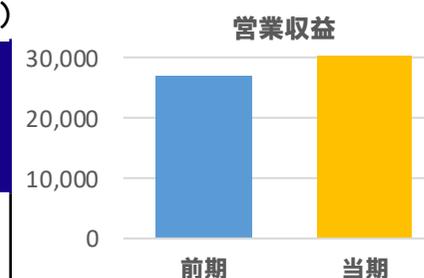
● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	2006年 設立（2007年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得
● iXIT株式会社	2015年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)	前年同期比
営業収益	26,995	30,149	111.7%
純営業収益	12,772	14,415	112.9%
営業利益	4,858	5,095	104.9%
経常利益	5,629	5,449	96.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,134	4,517	144.1%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2019年3月期 (2019年3月末時点)	2020年3月期 第2四半期 (2019年9月末時点)	前期末比
総資産	440,428	462,196	104.9%
純資産	72,565	76,582	105.5%
現預金	78,517	88,265	112.4%

主な増減要因

■【銀行関連事業】 ハーン銀行が好調

モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績が好調に推移したため、銀行関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で増加。

営業収益 257億70百万円 (前年同期比 27億36百万円増)

営業利益 49億11百万円 (前年同期比 2億69百万円増)

■【証券関連事業】 エイチ・エス証券(株)は減益

エイチ・エス証券は、低迷する国内株式市場を背景として、トレーディング損益等が減少したことにより、前年同期比で減収減益。

営業収益 16億75百万円 (前年同期比 1億17百万円減)

営業利益 60百万円 (前年同期比 64百万円減)

■【債権管理回収関連事業】 エイチ・エス債権回収(株)は増収増益

エイチ・エス債権回収は、債権回収高は順調に増加しており、買取債権の増加に伴う人件費や発送費用等の関連費用が増加したものの前年同期比で増収増益。

営業収益 21億36百万円 (前年同期比 5億36百万円増)

営業利益 1億43百万円 (前年同期比 3百万円増)

■【その他】 澤田ホールディングス(株)で為替差損や投資有価証券売却益が発生

為替差損1億79百万円(前年同期は為替差益1億64百万円)の発生により、連結経常利益が減益。

(株)廣濟堂や九州産業交通ホールディングス(株)などの投資有価証券の売却により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益。

セグメント別業績

2020年3月期第2四半期 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	25,770	1,675	2,136	607	146	30,149
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 25,770 内 -	外 1,638 内 37	外 2,136 内 -	外 602 内 5	外 1 内 144	-
営業利益	4,911	60	143	△10	△64	5,095
経常利益	4,911	81	84	△14	438	5,449

2019年3月期第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	23,034	1,792	1,600	612	491	26,995
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 23,034 内 -	外 1,749 内 42	外 1,600 内 -	外 608 内 4	外 2 内 489	-
営業利益	4,642	125	139	△126	345	4,858
経常利益	4,642	161	91	△154	1,282	5,629

※ 営業収益の内訳 (外:外部顧客に対する営業収益/内:セグメント間の内部収益又は振替高)

※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

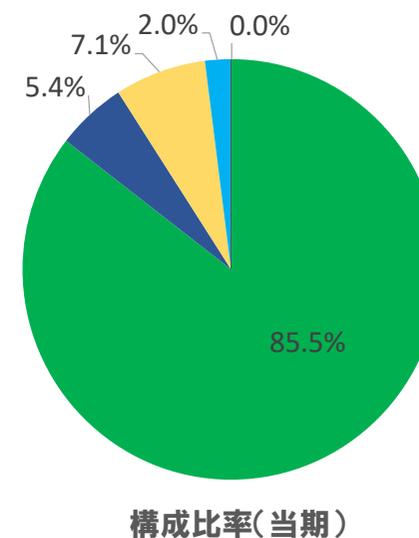
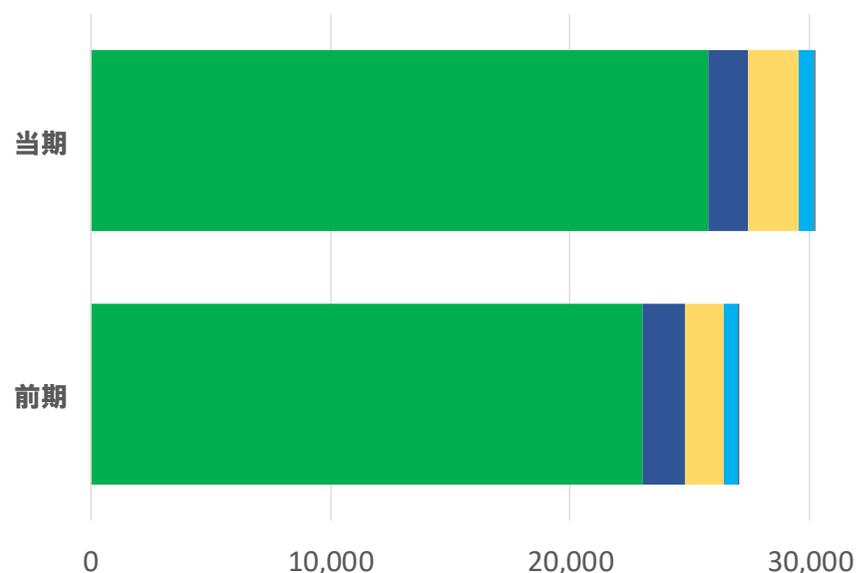
営業収益の構成

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

セグメント	期間	2019年3月期第2四半期 (2018年4月～9月)	2020年3月期第2四半期 (2019年4月～9月)	前年同期比
銀行関連事業		23,034	25,770	111.9%
証券関連事業		1,749	1,638	93.6%
債権管理回収関連事業		1,600	2,136	133.5%
IT関連事業		608	602	99.0%
その他事業		2	1	85.3%
合計		26,995	30,149	111.7%

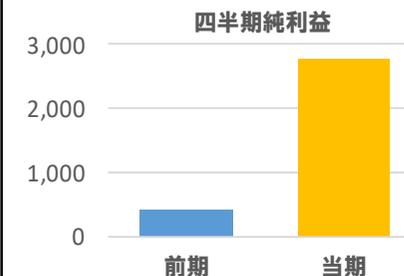
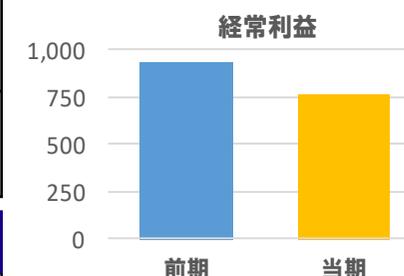
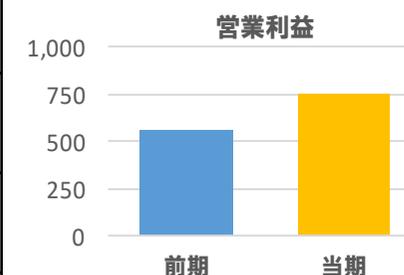
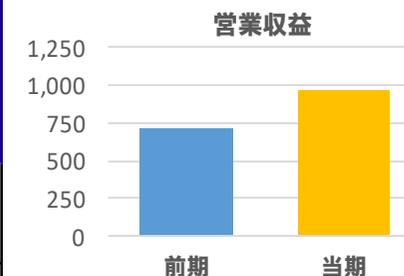
■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ IT関連事業 ■ その他事業



澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月～9月)	前年同期比
営業収益	710	965	135.9%
営業利益	564	754	133.8%
経常利益	930	763	82.0%
四半期純利益	395	2,765	699.1%
総資産 【前期末 / 当四半期末】	27,009	27,753	102.8%
純資産 【前期末 / 当四半期末】	26,517	27,468	103.6%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金や経営管理料が増加したことに伴い、前年同期比で増収増益。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 受取配当金の減少や為替差損の影響により、経常利益は前年同期比で減少。
- 九州産業交通ホールディングス(株)、(株)廣濟堂等の投資有価証券売却益2,407百万円を特別利益に計上。(前年同期はiXIT(株)の株式の減損損失659百万円を特別損失に計上。)

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	2018年12月期 第2四半期 (2018年1~6月)	2019年12月期 第2四半期 (2019年1~6月)	前年同期比
所在地	モンゴル国 ウランバートル	Interest income (資金運用収益)		460,939	564,280	122.4%
資本金	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		173,946	203,739	117.1%
議決権の 所有割合	54.41%	Profit for the period (四半期純利益)		88,359	84,834	96.0%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		9,089,679	9,854,908	108.4%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、資金運用収益、融資残高、預金残高ともに増加し、前年同期比で増収増益。法人税等の計上が増加したことにより、税引後四半期純利益は減益。
- 中国への資源輸出の増加等によりGDP(1-6月)は前年同期比7.3%増加するなど、モンゴル経済は回復基調。また、国際通貨基金(IMF)からの拡大信用供与措置(EFF)に伴う融資資金や貿易黒字により、外貨準備高は41億ドル台まで回復。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。また、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上など、顧客サービスの更なる向上に注力。

	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比	【為替レート】 2019年6月末 1円 = 24.69MNT 2019年1月~6月平均 1円 = 24.07MNT
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	5,522,734	7,111,316	128.8%	
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	3,802,045	4,603,709	121.1%	

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	1,792	1,675	93.5%
資本金	3,000百万円	営業利益	125	60	48.5%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	161	81	50.4%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	176	36	20.6%
		総資産 【前期末/当四半期末】	33,986	35,206	103.6%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 2007年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 米中貿易摩擦等の影響によるマーケット環境の低迷により、個人投資家売買が大きく減少し、委託手数料やトレーディング損益が減少し減収減益。また、預り資産残高も減少。投資銀行部門において、新規公開株式の主幹事案件2件の取組みと公開買付事務を受託したことにより、委託手数料の落ち込みを補う。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、外部環境に左右されない安定的収益の確保や、フィデューシャリー・デューティー(顧客本位の業務運営)の確立、インターネット取引の利便性向上及びシェアの獲得を目指す。
- 引受業務では、新規公開(IPO)5社(うち主幹事2社)の幹事に参入。

	2018年9月末	2019年9月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	415,067	337,620	81.3%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)</th> <th>2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,600</td> <td>2,136</td> <td>133.5%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>139</td> <td>143</td> <td>102.5%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>91</td> <td>84</td> <td>92.1%</td> </tr> <tr> <td>四半期純利益</td> <td>74</td> <td>57</td> <td>77.2%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当四半期末】</td> <td>7,959</td> <td>7,294</td> <td>91.6%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)	前年同期比	売上高	1,600	2,136	133.5%	営業利益	139	143	102.5%	経常利益	91	84	92.1%	四半期純利益	74	57	77.2%	総資産 【前期末/当四半期末】	7,959	7,294	91.6%
科目	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)		2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)	前年同期比																						
売上高	1,600		2,136	133.5%																						
営業利益	139		143	102.5%																						
経常利益	91		84	92.1%																						
四半期純利益	74		57	77.2%																						
総資産 【前期末/当四半期末】	7,959	7,294	91.6%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 過年度に買い取った大型債権群からの回収等により、売上高(債権回収高)は増加。一方、人員増加などの影響で販管費も増加しており、営業利益の増加は小幅にとどまる。前年同期において債権譲渡益によるスポット的な営業利益の増加要因があったが、今期は買取債権回収高の積み上げによる収益を強化。
- 金融機関によるバルクセール(債権の一括売却)における落札価格の高騰が続く状況下において、安定的な収益を維持するため引き続き営業活動に注力し、買取債権の増加を目指す。また、スポット的な損益ではなく債権回収高を着実に積み上げていく。

	2018年9月末	2019年9月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	1,368	1,466	107.1%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	75	75	100.2%
買取債権残高 (百万円)	5,909	7,034	119.0%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月~9月)	2020年3月期 第2四半期 (2019年4月~9月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	4,297	4,124	96.0%
資本金	778百万円	営業利益	1,993	1,890	94.9%
議決権の 所有割合	40.19%	経常利益	2,109	1,858	88.1%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益	1,450	1,288	88.8%
		総資産 【前期末/当四半期末】	131,432	133,540	101.6%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- ボラティリティ(価格の変動率)の低下により、ほぼ全ての通貨ペアで取引数量が減少となり、費用も減少したものの、収益の落ち込みを補うには至らず、前年同期比で減収減益。
- ヘビートレーダー層を確保しつつ、ビギナー層、ミドル層の顧客の支援、取引ツールのバージョンアップを積極的に実施するなど、更なる顧客基盤の拡充を図る。
- WEB動画やラジオ等による知名度向上を図り、各種キャンペーンも積極的に実施。

	2018年9月末	2019年9月末	前年同期比
口座数 (件)	469,598	500,057	106.5%
預り資産残高 (百万円)	114,252	114,170	99.9%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	2018年12月期 第2四半期 (2018年1~6月)	2019年12月期 第2四半期 (2019年1~6月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)		197	105	53.6%
資本金	1,962百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		332	403	121.3%
議決権の 所有割合	45.42%	Profit for the period (四半期純利益)		3	2	61.9%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		10,599	9,924	93.6%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 法人向け融資の減少と貸出金利の低下により資金運用収益は減少。一方、為替取引や貴金属取引等の非金利収益の増加、引当金の戻入により純業務収益は前年同期比で増加。
- ロシア経済は、付加価値税の引き上げや緊縮財政政策などにより低成長が続いており、実質GDP(1-6月)は前年同期比で0.9%増加。また、欧米諸国による経済制裁は継続しており、中央銀行の規制強化により銀行数は減少するなど、厳しい状況が続く。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却による財務状況の改善に取り組む。

	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比	【為替レート】
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	7,710	6,695	86.8%	2019年6月末 1RUB = 1.71円
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	6,690	5,182	77.5%	2019年1月~6月平均 1RUB = 1.68円

キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間	2018年12月期 第2四半期 (2018年1~6月)	2019年12月期 第2四半期 (2019年1~6月)	前年同期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income ※ (純資金運用収益)		50	80	160.7%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)		30	94	313.0%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (四半期純利益)		△75	△23	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		3,754	4,323	115.2%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 当社子会社化以降における自己資本の増強により、融資残高・預金残高は継続的に増加。それに伴い、金利収入も順調に伸びており、また、引当金の戻入、為替取引による非金利収入増加の影響もあり純資金運用収益と業務収益はともに増益。
- キルギス経済は、金生産の増加に伴い鉱工業生産や輸出が好調で、実質GDP(1-6月)は前年同期比で6.3%の増加。
- 中小企業や個人顧客への貸出し、オンラインバンキングやカード事業の強化に加え、システム強化等の全体的な合理化を図る。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示。

	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	2,373	3,142	132.4%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	2,058	2,498	121.4%

【為替レート】
2019年6月末
1KGS = 1.55円
2019年1月~6月平均
1KGS = 1.58円

《連結》

(単位:百万円)

商号	ixIT株式会社	期間		前年同期比	
		科目	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月～9月)		2020年3月期 第2四半期 (2019年4月～9月)
所在地	東京都世田谷区	売上高	612	607	99.2%
資本金	410百万円	営業利益	△127	△10	-
議決権の 所有割合	96.77%	経常利益	△136	△14	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	△137	△15	-
		総資産 【前期末/当四半期末】	544	474	87.1%

会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信(自社開発、他社との共同事業・運用受託形式)やモバイルアプリケーション開発を展開
- ② 2015年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックス(現ixIT(株))の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 新規事業の開始、新規顧客の開拓に向けた営業の強化及び組織改編等の実施により、新規受託案件は増加傾向にあるが、既存顧客への受託開発案件の売上減少などから前年同期比で若干の減収。しかし、人件費等のコスト削減により営業損失の赤字幅は縮小している。
- 引き続き新規顧客の開拓に向けた営業の強化や固定費の削減を図る。また、異業種からの協業等が活発化し、従来の通信事業の枠を超えた新たな市場での厳しい競争が加速する中、将来の成長に向けた新たなサービスの創出を目指す。
- 実店舗での定額課金(サブスクリプション)サービスのスマートフォンアプリ『ファーストパスポート』では、日比谷花壇にて花の店頭受取りができる『ハナノヒ』の提供を開始。また、石川県小松市にて観光客向け AI コンシェルジュサービスの試験運用を開始。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第2四半期決算日(6月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2019年1月～6月(又は6月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2018年12月期第2四半期		2019年12月期第2四半期	
		期末レート (2018年6月末)	平均レート (2018年1月～6月)	期末レート (2019年6月末)	平均レート (2019年1月～6月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=22.26MNT	1円=22.15MNT	1円=24.69MNT	1円=24.07MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.62円	1KGS=1.60円	1KGS=1.55円	1KGS=1.58円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.75円	1RUB=1.84円	1RUB=1.71円	1RUB=1.68円